

覚えてください。災害時の声の伝言板

平成28年6月12日

災害用伝言ダイヤル「171」の利用法を！

せんげん支隊情報・広報部

熊本大震災の発生から約1か月半が経ちました。テレビ・新聞等によると、多くの被災者が長期に亘ってテント生活や車中泊を余儀なくされて大変なご苦勞をされているようです。被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。

1995年に阪神淡路大震災が発生し、その9年後に中越地震、その7年後に東日本大震災、5年後に熊本地震が起きました。(震度7) 震度7の巨大地震の起きる間隔が次第に短くなっているようです。

震度7以上といわれる首都直下地震もいつ起きても不思議ではありません。熊本地震は私たちに多くの教訓を与えてくれました。それを絶対に無駄にしないよう心がけましょう。



## 1 せんげん支隊全体集会のご報告

5月29日(日)にせんげん支隊の全体集会が開催されました。

当日の出席は30名、石崎代表支隊長を始め、各担当支隊長より以下の説明がありました。また、説明終了後、アルファ米・備蓄用パンの試食や、非常用トイレの作り方の指導などもありました。以下は要点のみ。

### ①2016年度の活動計画

- \* スタンドパイプ訓練を6月12日(日)と7月10日(日)に実施する。
- \* せんげん支隊防災訓練を9月に実施する。
- \* 旗出し訓練を10月30日(日)に実施する。(当日午後は小川自主防災隊全体の総合防災訓練)

②非常時の活動体制： 震度5強以上を非常時とする。活動隊員は自身と家族の安全を確認後、速やかに支隊本部(せんげん公園)に集合し、管轄区域全体の安否確認等の活動を行う。その他の隊員(自治会員)は自身と家族の安全を確認後、「無事です」の旗を出し、近所に被害を受けた人がいれば協力して助け合う。

③非常時の備えについて：\* 食料・水の備蓄は最低1週間分を、カセットコンロとボンベも必要。(家庭用食料品備蓄ガイドを参照してください) \* 非常用トイレ 同じく1週間分を。\* 感震ブレーカーの設置を。

\* 今回の非常用備蓄品共同購入の結果：トイレセット52 ランタン18 アルファ米セット25 5年保存水セット11 感震ブレーカー8 合計114となりました。

## 2 第2回スタンドパイプ放水訓練の実施と参加依頼

2016年度第2回スタンドパイプ放水訓練を6月12日(日)の午前10:00~12:00の予定で実施します。昨年は3回の訓練を行い、10月の自主防災隊全体の総合訓練では消防署の署員に代わって訓練参加者への指導を行うまでにスキルを高めました。消防署の担当者からもお褒めの言葉をいただきました。今年はさらなるスキルアップを目指して訓練を行う予定です。特に今年は、女性5、男性1による「女性消火チーム」の編成を目指します。そして9月の支隊総合訓練にてその力をご披露していただきたいと考えています。女性の方々、どうぞ奮ってご参加のほどお願いします。

## 3 災害用伝言ダイヤルについて

NTTでは災害時に「171」にダイヤルして被災者が安否メッセージを登録し、家族・親戚等の関係者が聞くことのできる「声の伝言板」サービスを行っています。また、携帯各社でも文字を使った安否情報確認サービスを行っています。詳しくは別紙「安否確認の伝言ダイヤル」をご覧ください。